

動画をダウンロード&DVD/ブルーレイにするテクニックを徹底解説!

YouTubeとニコニコ動画をDVD & ブルーレイにしてTVで見る本

操作解説動画
体験版ソフト
オンラインソフト
多数収録



動画を効率よく探すテクニック

iPad/iPhone/iPod用に変換

ブラウザのアドオンでダウンロード

分割された動画を結合する

ハイビジョン動画をブルーレイで見る

本格的なメニュー付きDVDを作る

YourFileHostでアダルト動画をゲット!

お気に入りの動画をいつでも見たい

なかなか動画が落ちてこなくてイライラ

削除されても見なくなる動画がある

そんなときは

有名動画サイトを徹底攻略!

- YouTube
- ニコニコ動画
- Yeah
- YourFileHost 5.0

ネットの動画をテレビで楽しもう!

1 「AviUtl」にプラグインを組み込む

準備として、まず「AviUtl」を[作者のサイト](http://spring-fragrance.mints.ne.jp/aviutl/) (http://spring-fragrance.mints.ne.jp/aviutl/) からダウンロードし、解凍しておく。解凍したファイルの格納場所はどこでもよいが、Cドライブの直下にフォルダを作成して格納するとトラブルが起こりにくい。

次に、SWFファイルを読み込むためのプラグイン「swf.vfp」を導入する。プラグインはAviUtlのプログラム本体と同じフォルダに置いて動作するが、「plugins」フォルダを作成して格納した方が管理しやすい。

ソフト名 : AviUtl

作者名 : KENくん

種別 : フリーソフト

URL : <http://spring-fragrance.mints.ne.jp/aviutl/>

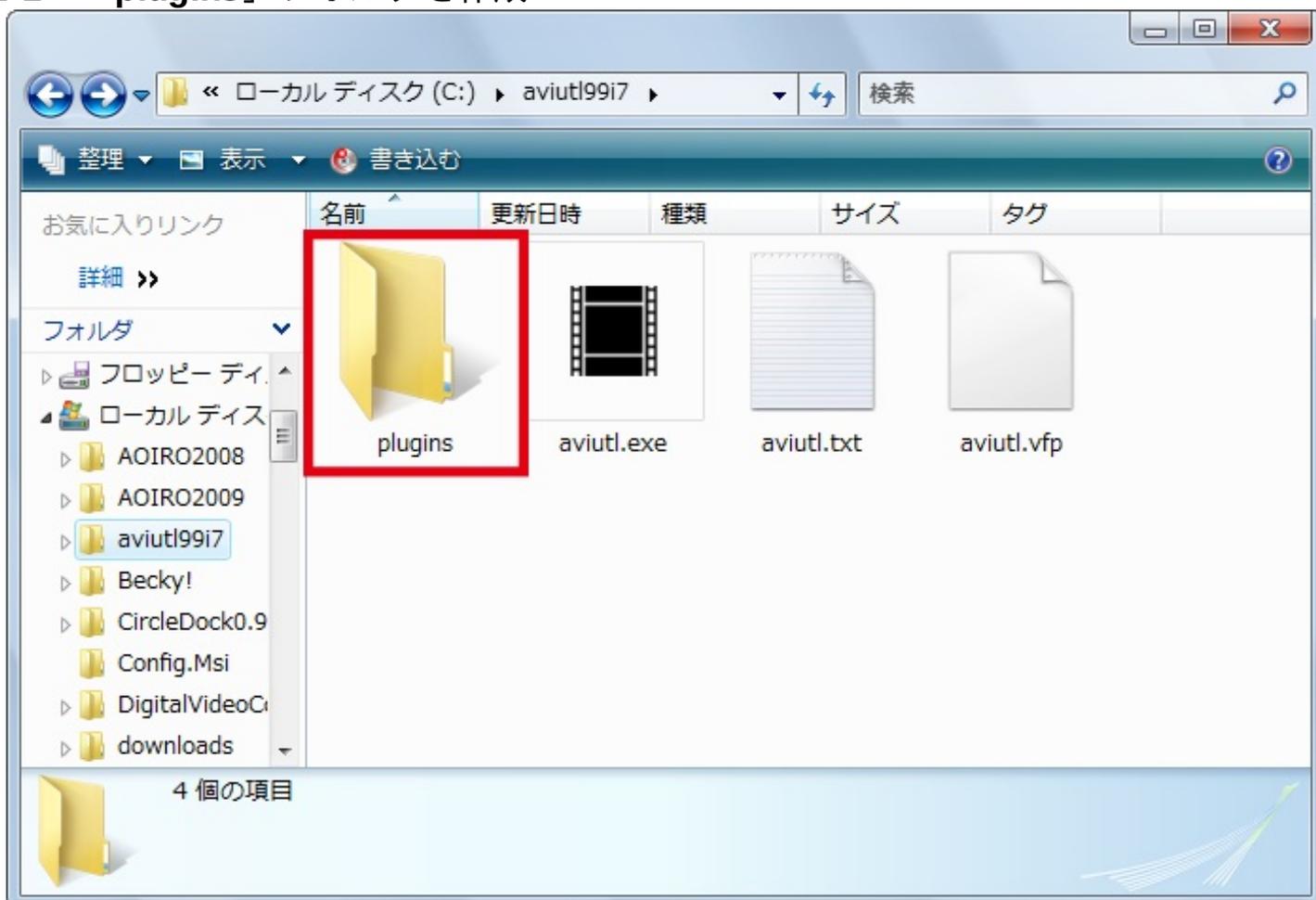
ソフト名 : swf.vfp

作者名 : 茂木和洋

種別 : フリーソフト

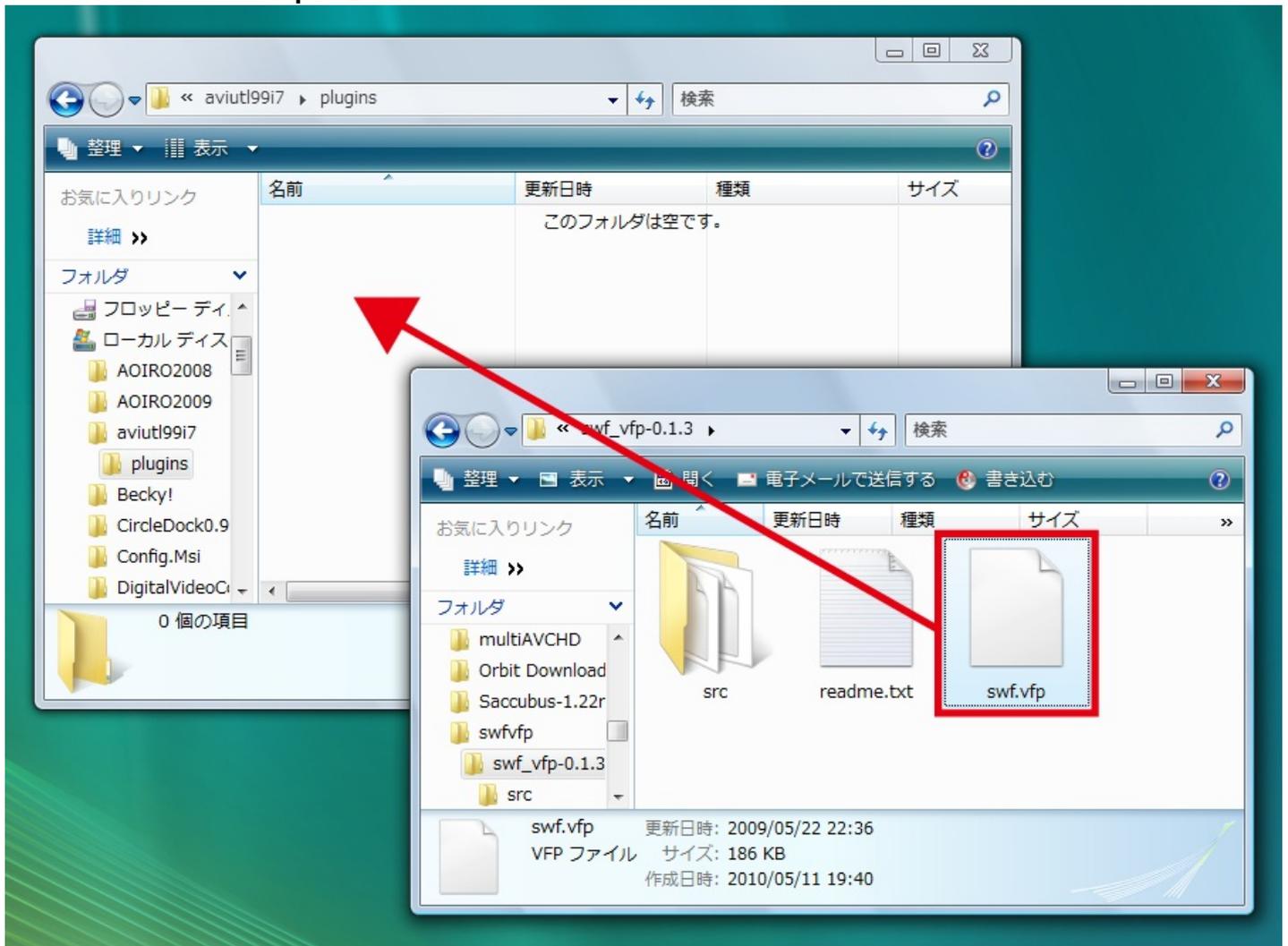
URL : http://www.marumo.ne.jp/db2009_5.htm#22

1-1 「plugins」フォルダを作成



「AviUtl」のフォルダ内に、「plugins」という名前のフォルダを作成する。

1-2 プラグイン「swf.vfp」を導入



[作者のサイト](http://www.marumo.ne.jp/db2009_5.htm#22) (http://www.marumo.ne.jp/db2009_5.htm#22) から「swf.vfp」をダウンロードする。
。ファイル (swf_vfp-0.1.3.lzh) を解凍し、生成された「swf.vfp」ファイルを、先ほど作成した「plugins」フォルダへコピーする。

2 映像と音声の圧縮に必要なコーデックを導入する

「AviUtl」では、ファイルの出力時にコーデックを選択して映像や音声を圧縮できるが、標準搭載のコーデックではファイルサイズがかなり大きくなってしまいがちが多い。もっと小さいサイズに圧縮して扱いやすくするために、ビデオコーデックとして「XviD」、オーディオコーデックとして「LAME」を利用する。まずはそれぞれのコーデックを入手してインストールしておこう。

ソフト名：XviD codec
作者名：Xvid team
種別：フリーソフト
URL：<http://www.xvidmovies.com/>

ソフト名：LAME ACM codec
作者名：The LAME Project
種別：フリーソフト
URL：<http://www.rarewares.org/>

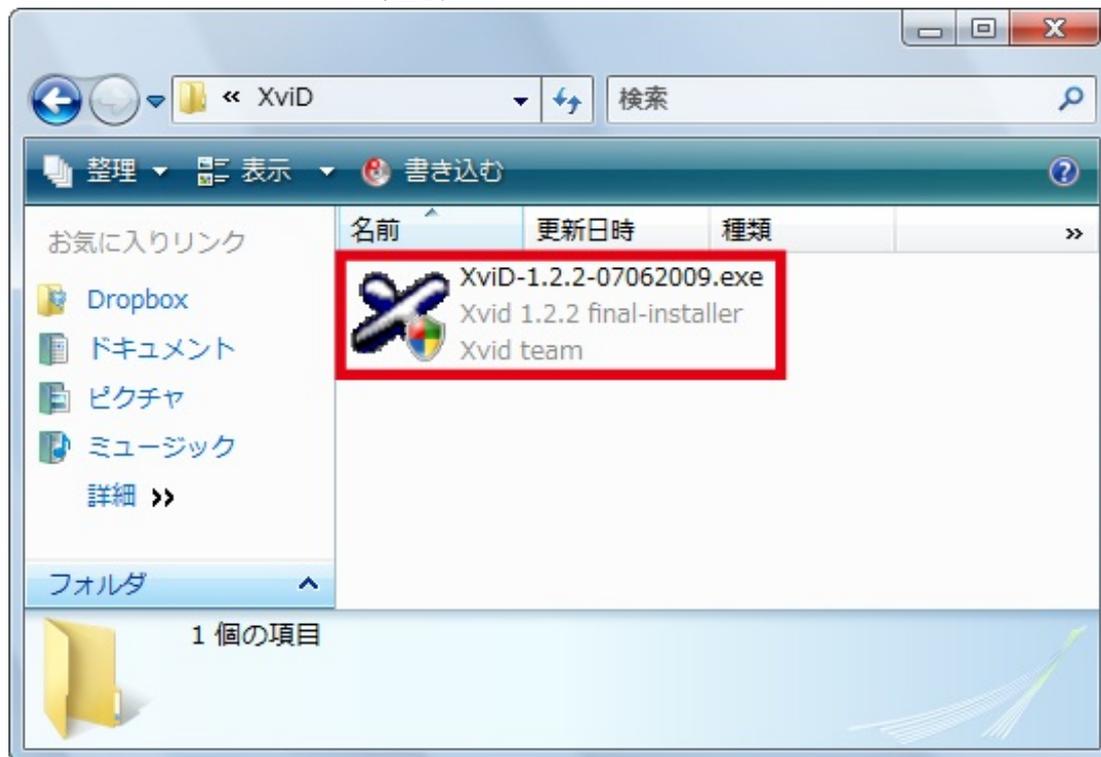
2-1 「XviD codec」をダウンロード



The screenshot shows a web browser window displaying the XviD Movies website. The page title is "Download the XviD Codec - XviD Movies". The URL in the address bar is <http://www.xvidmovies.com/codec/>. The page content includes a navigation menu on the left with links for DivX, XviD, and Site. The main content area features a "Codecs" section with a link to "XviD codec v1.2.2 for Windows" (637KB), which is highlighted with a red box. Below this link, there is a description of the codec and instructions for installation. A "Community" sidebar on the right shows membership statistics and a poll. The bottom of the browser window displays the status bar with "インターネット | 保護モード: 有効" and a zoom level of 100%.

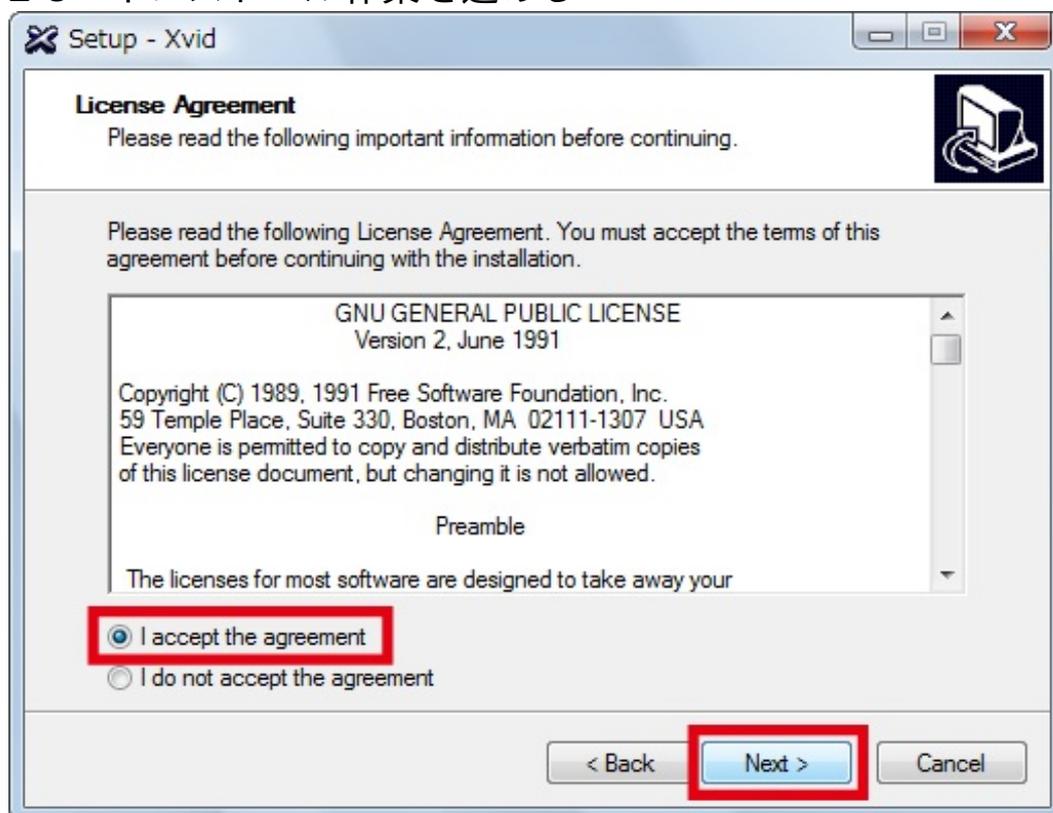
作者のサイト (<http://www.xvidmovies.com/codec/>) にアクセスし、Windows版のダウンロードリンクをクリックして、ファイルをパソコンに保存する。

2-2 インストーラを起動



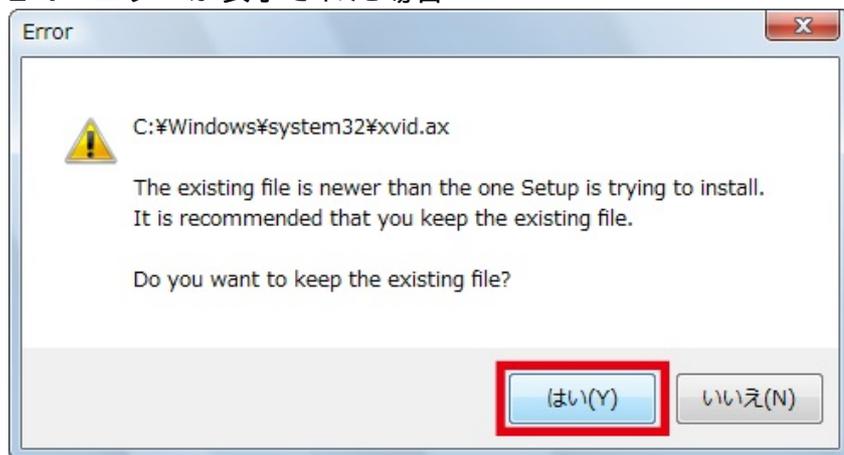
ダウンロードしたEXEファイルをダブルクリックする。「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されたら、「許可」をクリックする。

2-3 インストール作業を進める



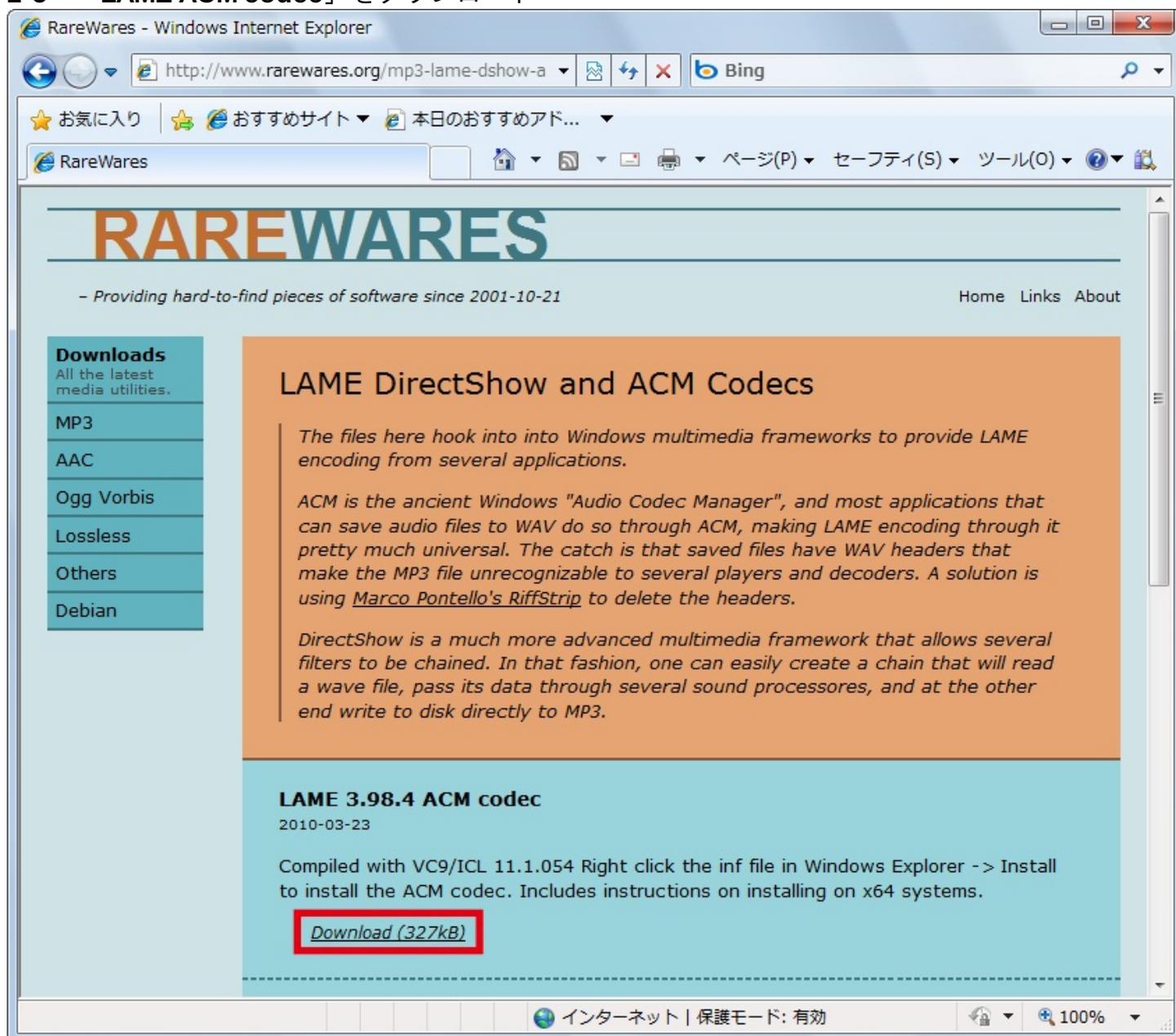
インストーラが起動したら、最初の画面で「Next」をクリック。図の画面では「I accept the agreement」を選択する。あとは「Next」をクリックしていけばOK。

2-4 エラーが表示された場合



より新しいバージョンのXviDコーデックがすでにパソコンにインストールされている場合、このようなエラーが表示される。既存のファイルを残しておきたい場合は「はい」をクリックしよう。どちらを選択した場合でも、インストールは問題なく続行できる。

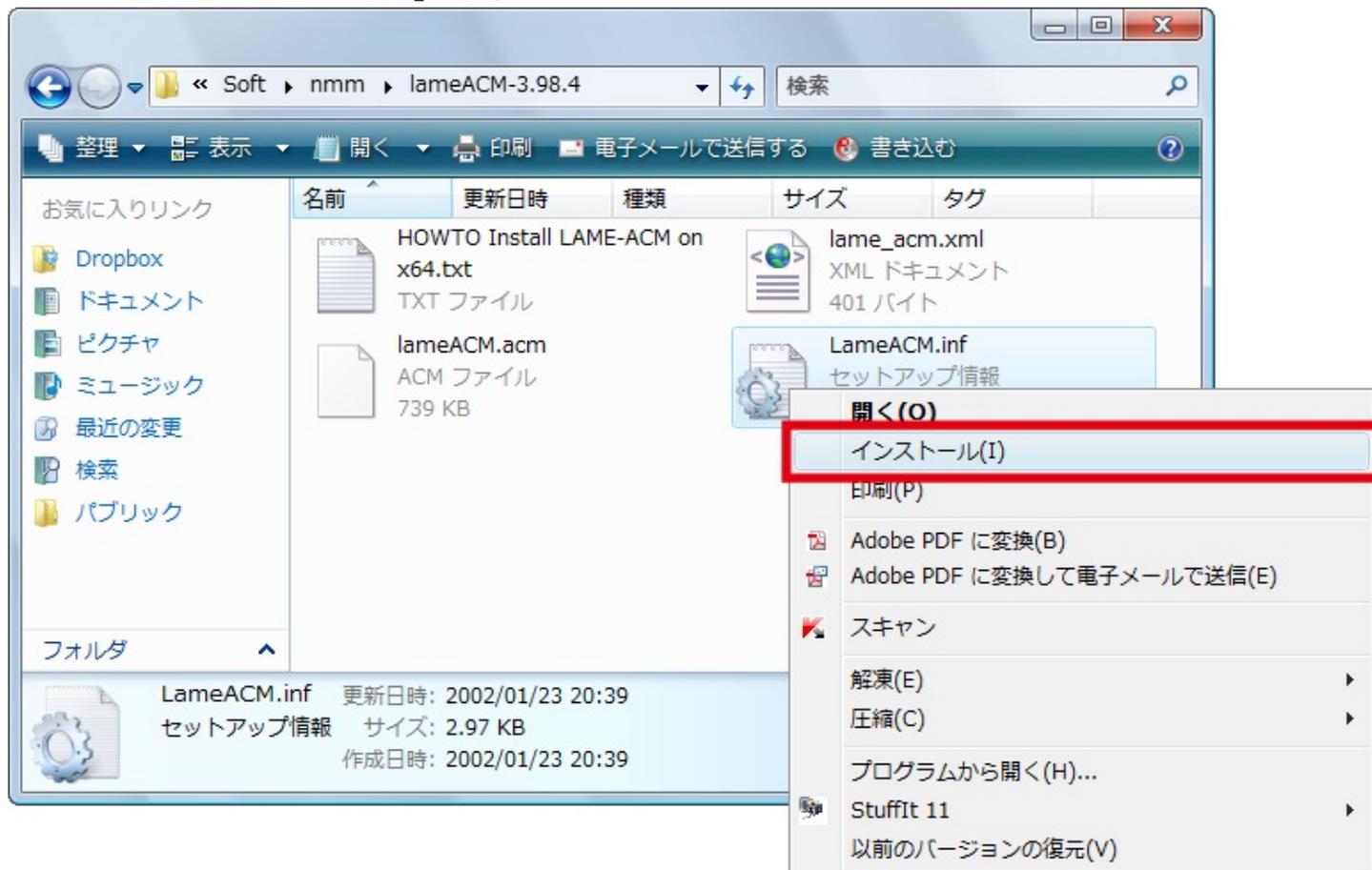
2-5 「LAME ACM codec」をダウンロード



次に「LAME ACM codec」をダウンロードしよう。[配布ページ](http://www.rarewares.org/mp3-lame-dshow-acm.php)（<http://www.rarewares.org/mp3-lame-dshow-acm.php>）にアクセスし、最新バージョン（本稿執筆時点では3.98.4）の欄にあ

る「Download」をクリックして、ファイルをパソコンに保存する。

2-6 「LAME ACM codec」をインストール



ダウンロードしたZIPファイルを解凍し、「LameACM.inf」を右クリックして「インストール」を選択する。「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されたら、「続行」をクリック。これでインストールが完了する。

3 「HugFlash」でSWFから音声を抽出する

すでに述べたように、「swf.vfp」を導入すれば「AviUtil」にSWFファイルを読み込めるが、このプラグインで入力可能なのは映像のみで、音声には対応していない。そこで、あらかじめ「HugFlash」で音声を抽出しておき、それをAviUtilに読み込んで、映像と合わせてエンコードするという方法をとる。

ニコニコムービーメーカーで作成されたSWFファイルの音声はMP3形式になっているが、AviUtilに読み込める形式はWAVEに限られる。そこで、HugFlashでWAVEに変換して出力できるように設定しておこう。

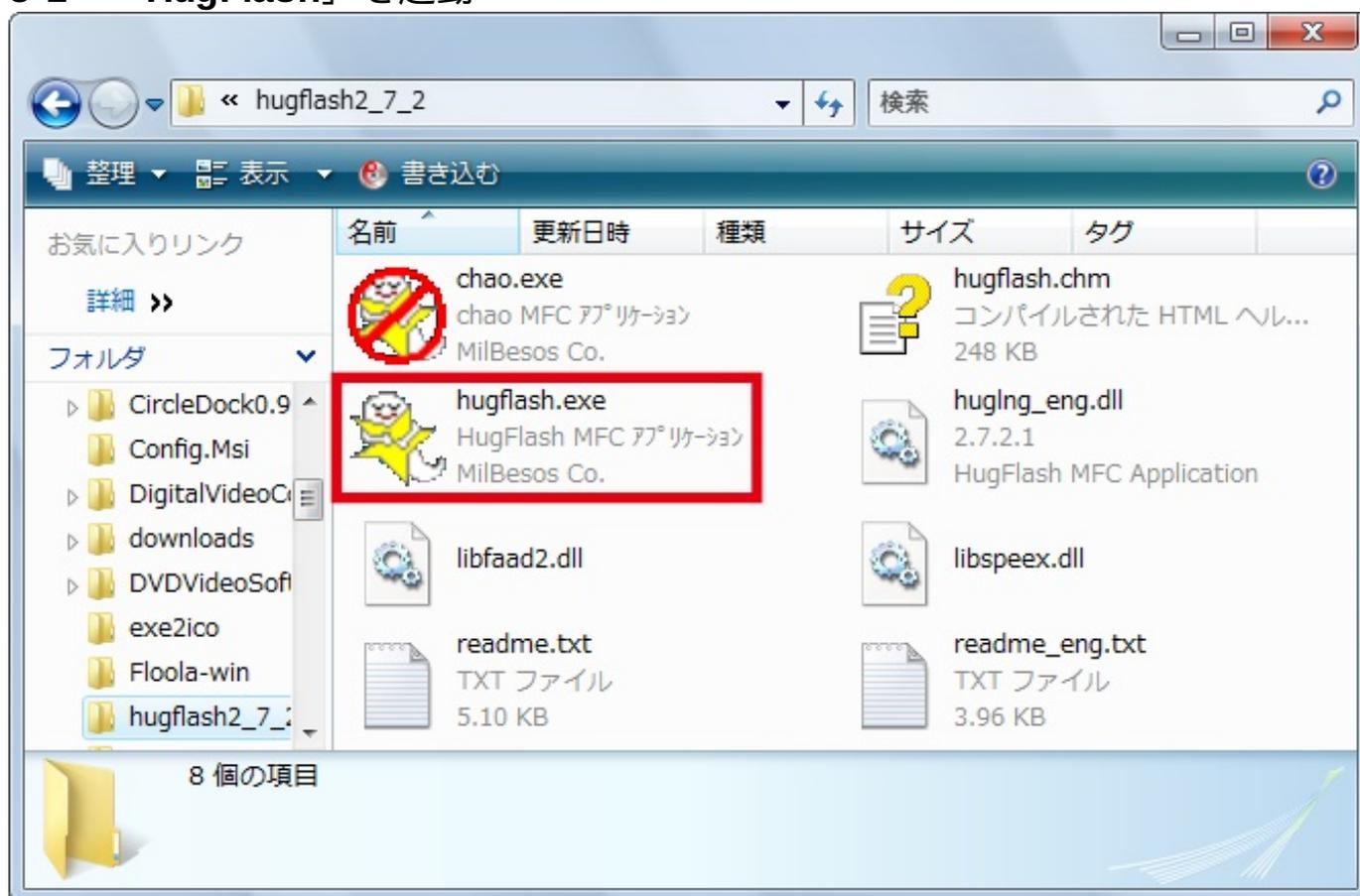
ソフト名 : HugFlash

作者名 : milbesos

種別 : フリーソフト

URL : <http://www.paw.hi-ho.ne.jp/milbesos/>

3-1 「HugFlash」を起動



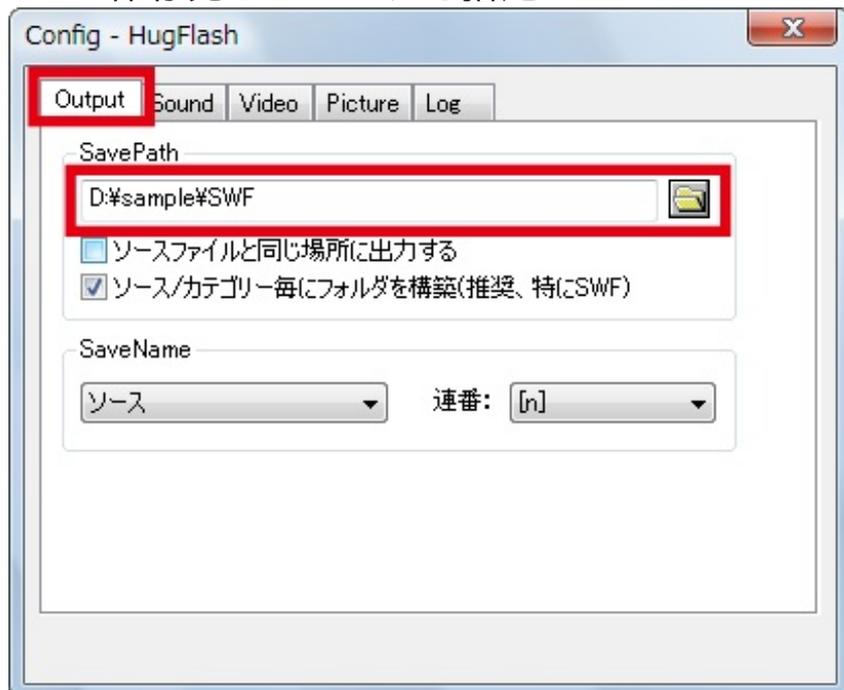
[作者のサイト](http://www.paw.hi-ho.ne.jp/milbesos/) (http://www.paw.hi-ho.ne.jp/milbesos/) から「HugFlash」をダウンロードし、任意のフォルダに解凍しておく。この中の「hugflash.exe」をダブルクリックして起動する。

3-2 音声を抽出するための設定



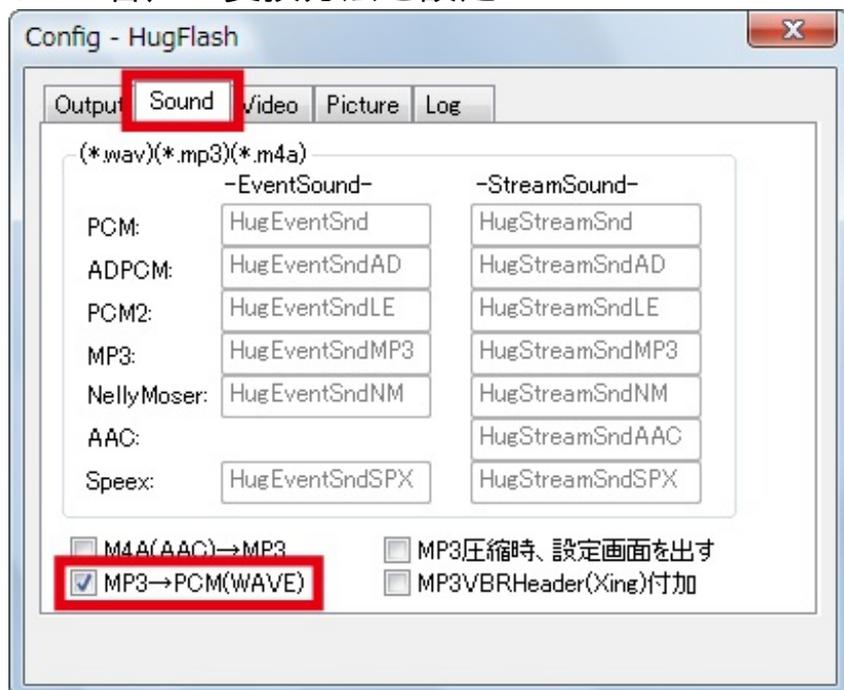
HugFlashが起動したら、「SOUND」にチェックを付ける。その他のチェックは外してかまわない。次に、右上の黄色いボタンをクリックして設定画面を開く。

3-3 保存先のフォルダを指定



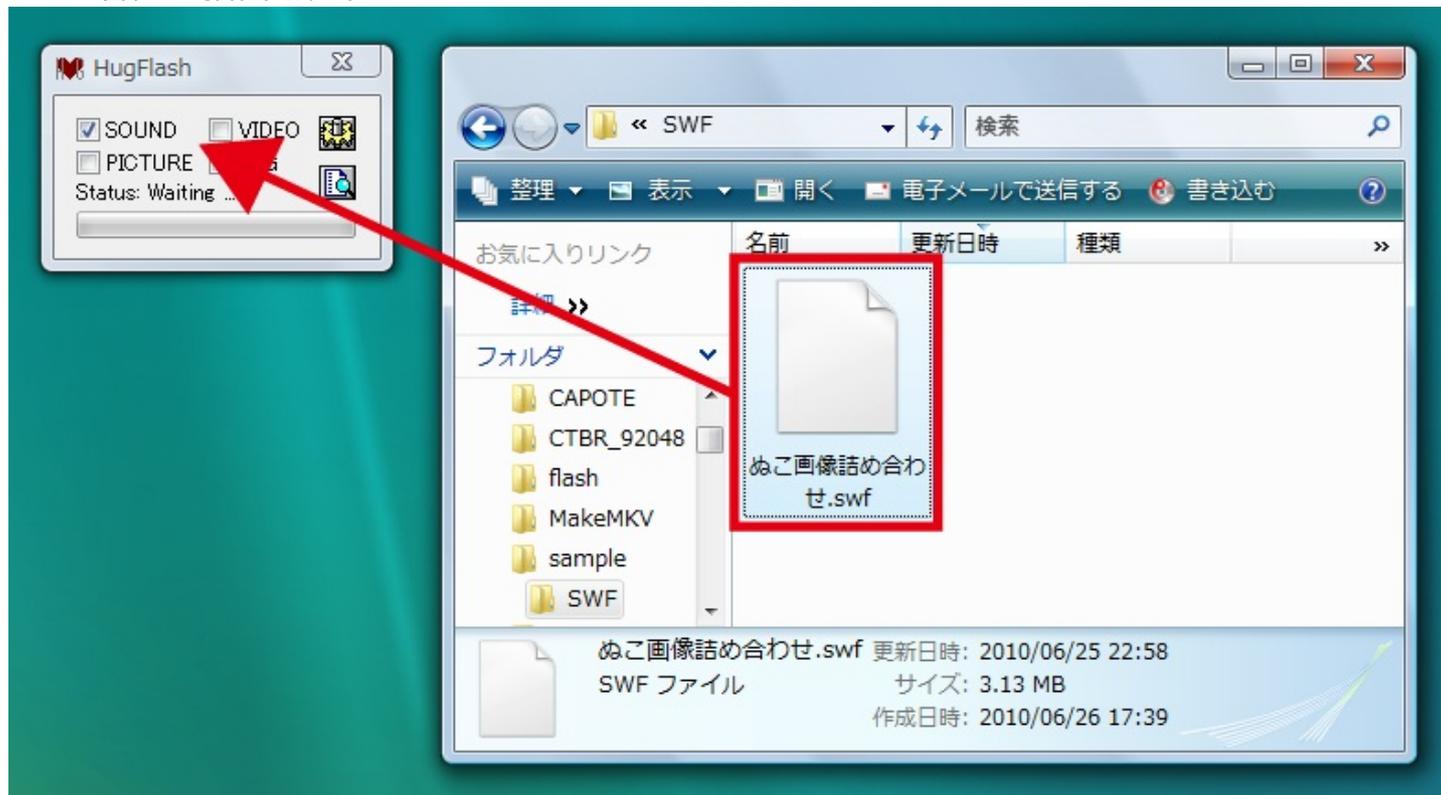
「Output」タブでフォルダ型ボタンをクリックし、ファイルの保存先を指定する。

3-4 音声の変換方法を設定



次に「Sound」タブを開き、左下の「MP3→PCM (WAVE)」にチェックを付けて、この画面を閉じる。

3-5 音声の抽出を実行



ニコニコ動画からダウンロードしたSWFファイルを、HugFlashのウィンドウヘドラッグ&ドロップする。音声の抽出が実行されるので、完了するまで待つ。

3-6 WAVEファイルが出力される

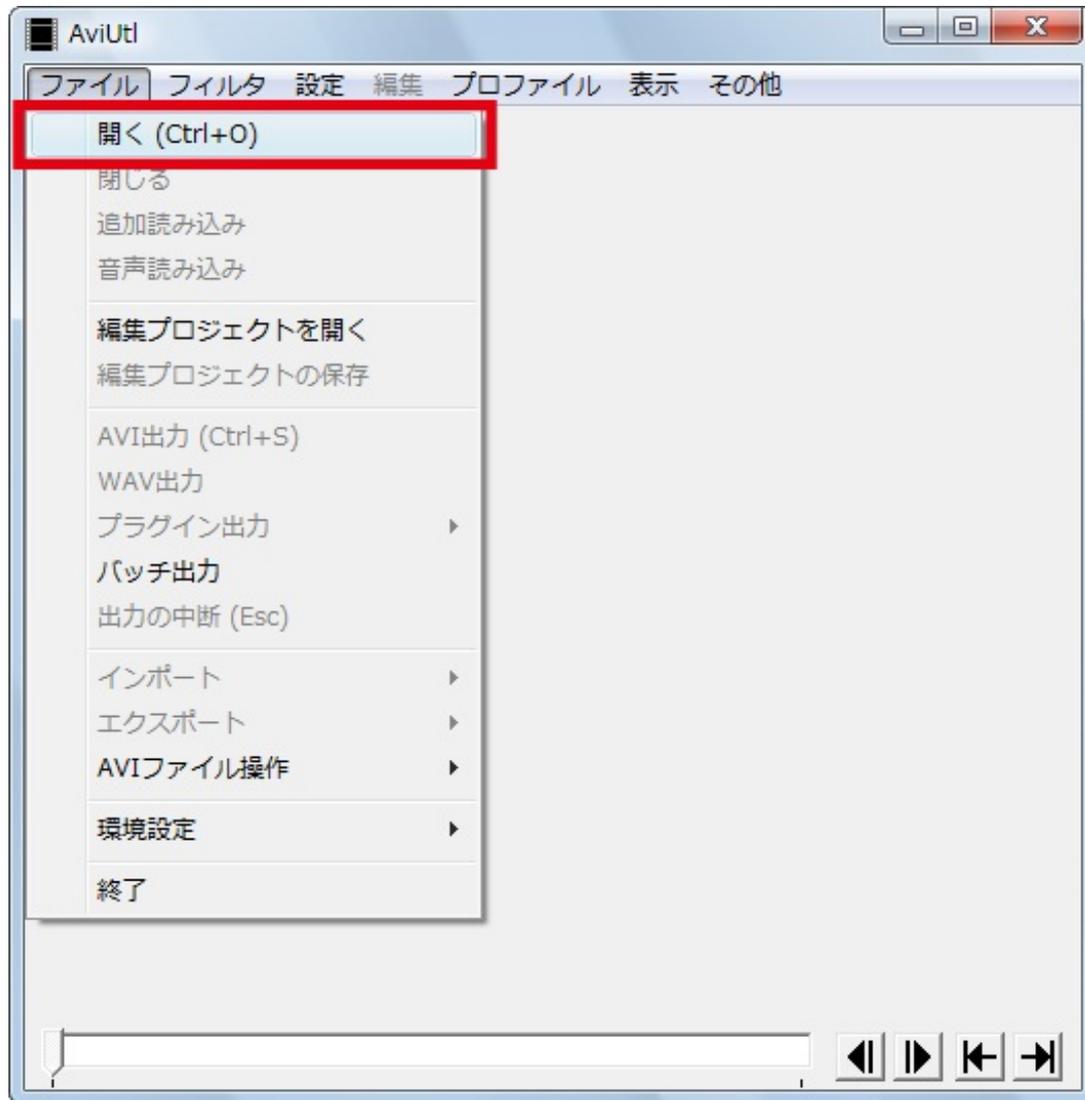


保存先として指定したフォルダ内に、元のファイルと同じ名前のフォルダが作成され、その中の「SOUND」フォルダにWAVE形式のファイルが出力される。

4 「AviUtl」に映像と音声を読み込んで変換

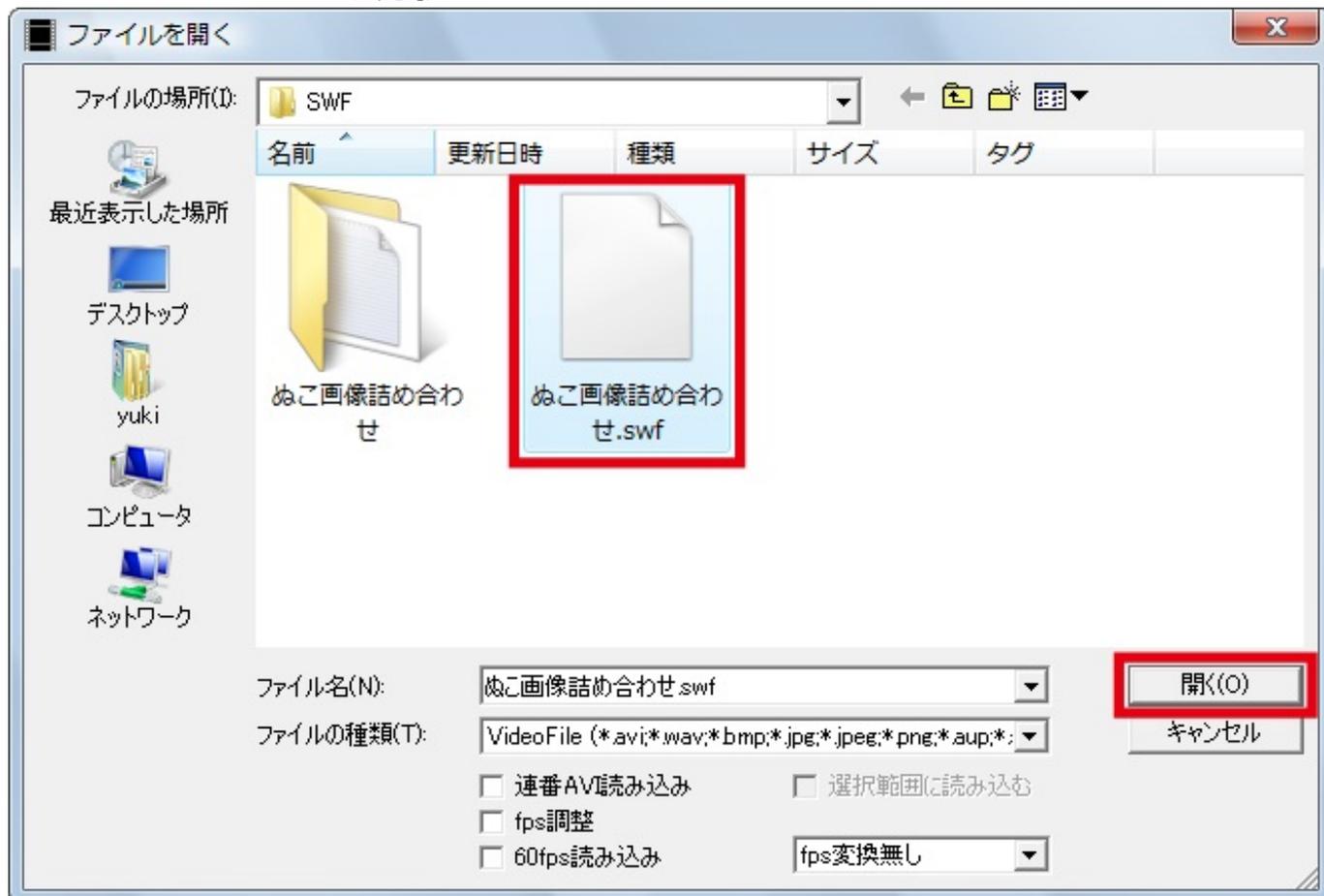
ここまでの作業が完了したら、「AviUtl」にSWFファイルとWAVEファイルを読み込んで、AVI形式に変換しよう。「AVI出力」ダイアログの「ビデオ圧縮」ボタンと「オーディオ圧縮」をクリックすると、映像と音声のコーデックを選択できる。あとは名前を付けてファイルを保存すれば、変換が実行される。出力された動画は、Windows Media Playerなどで再生可能だ。

4-1 「AviUtl」でファイルを開く



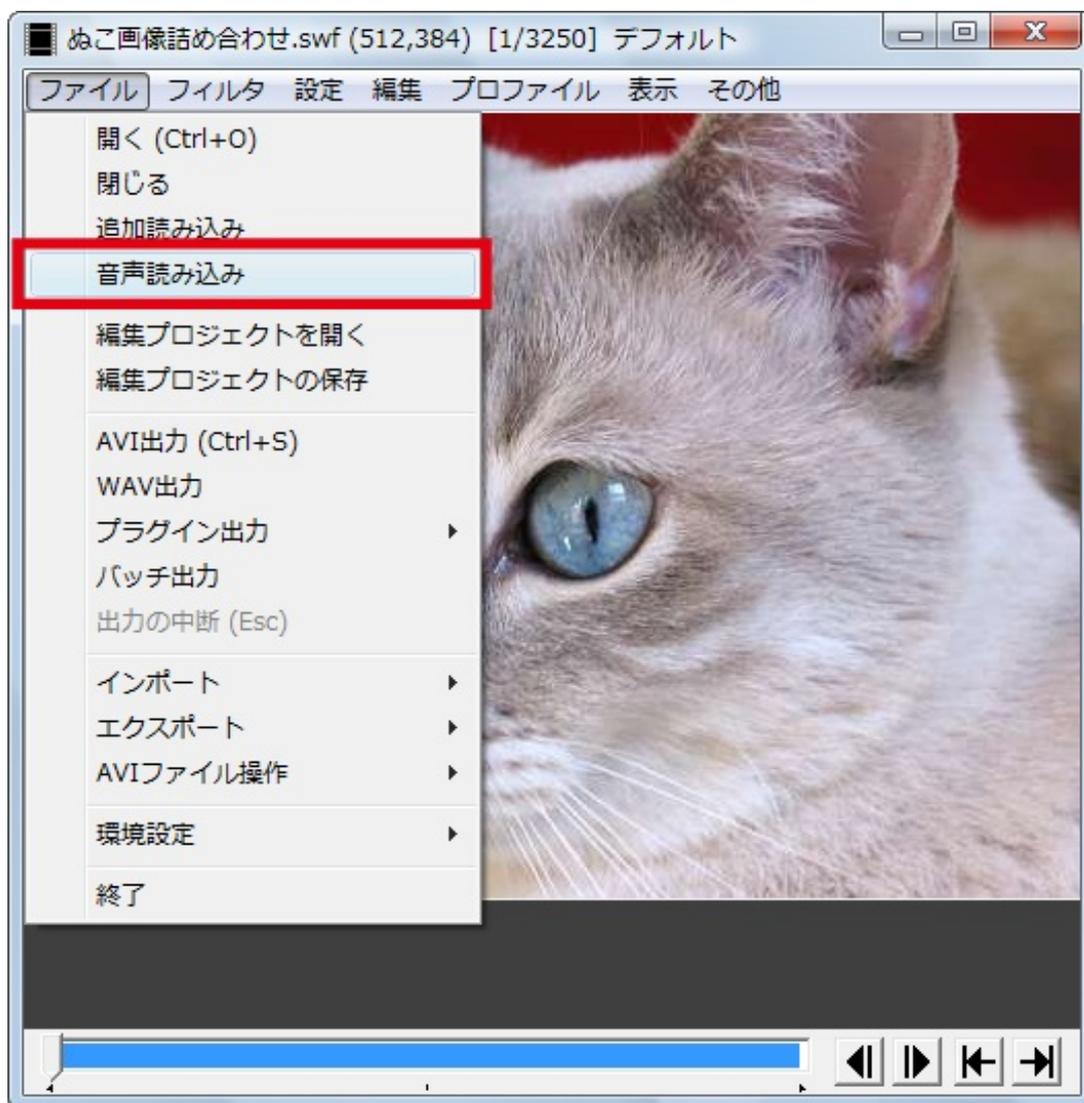
「aviutl.exe」をダブルクリックして、AviUtlを起動する。「ファイル」メニュー→「開く」を選択する。

4-2 SWFファイルを選択



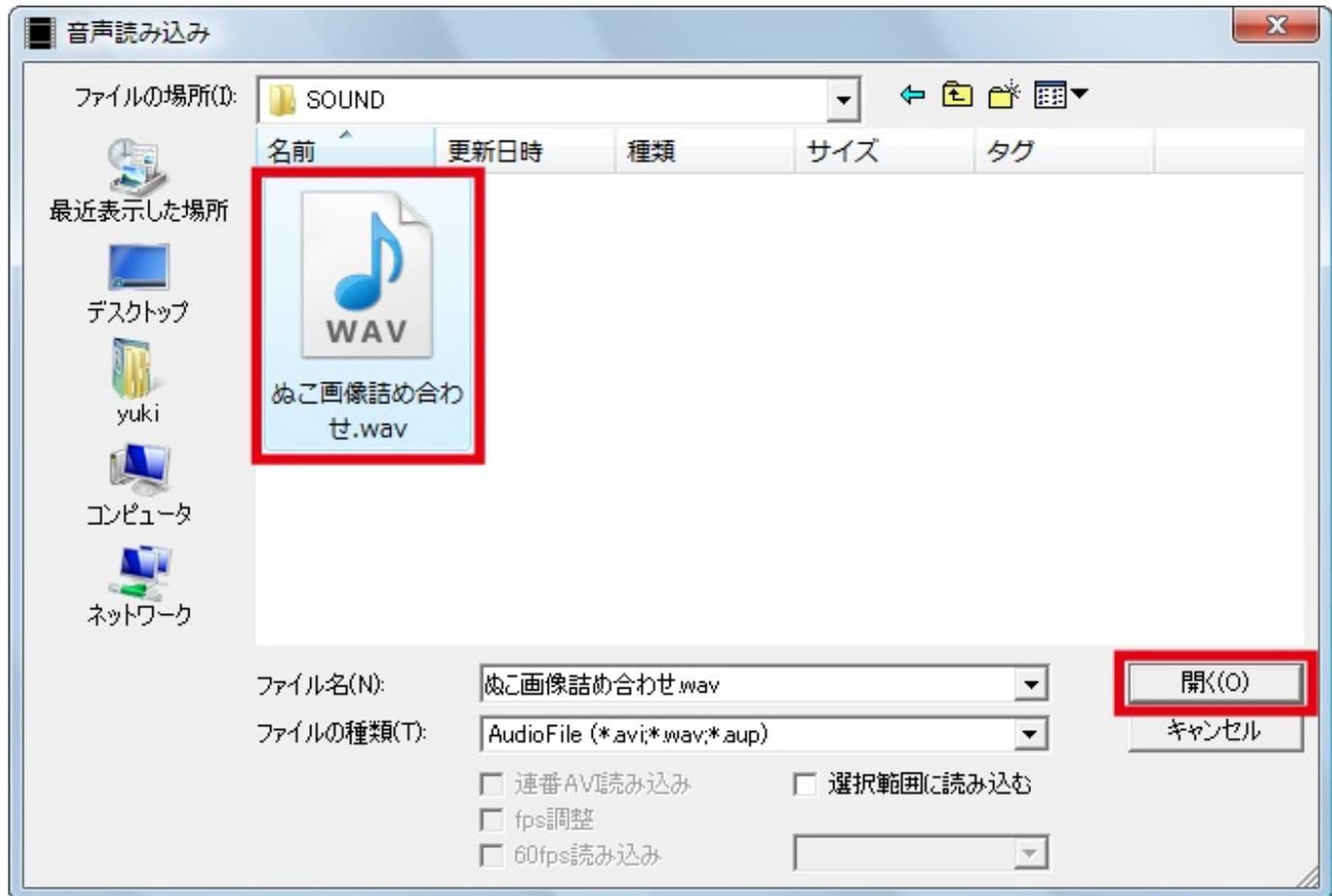
「ファイルを開く」ダイアログが表示されるので、変換したいSWFファイルを選択して「開く」ボタンをクリックする。

4-3 音声を読み込む



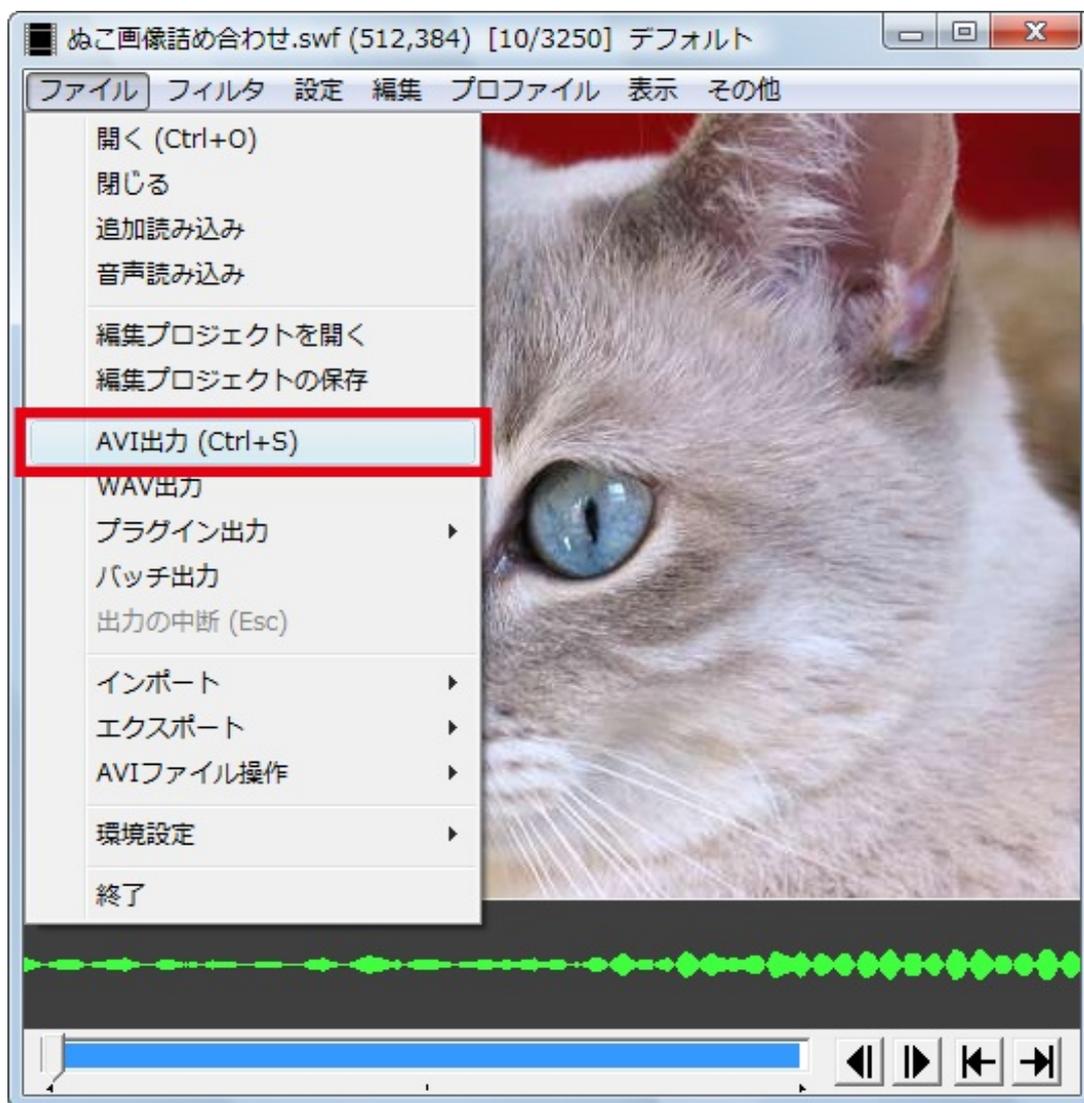
SWFファイルの映像が読み込まれ、ウィンドウに表示される。次に、「ファイル」メニュー→「音声読み込み」を選択する。

4-4 WAVEファイルを選択



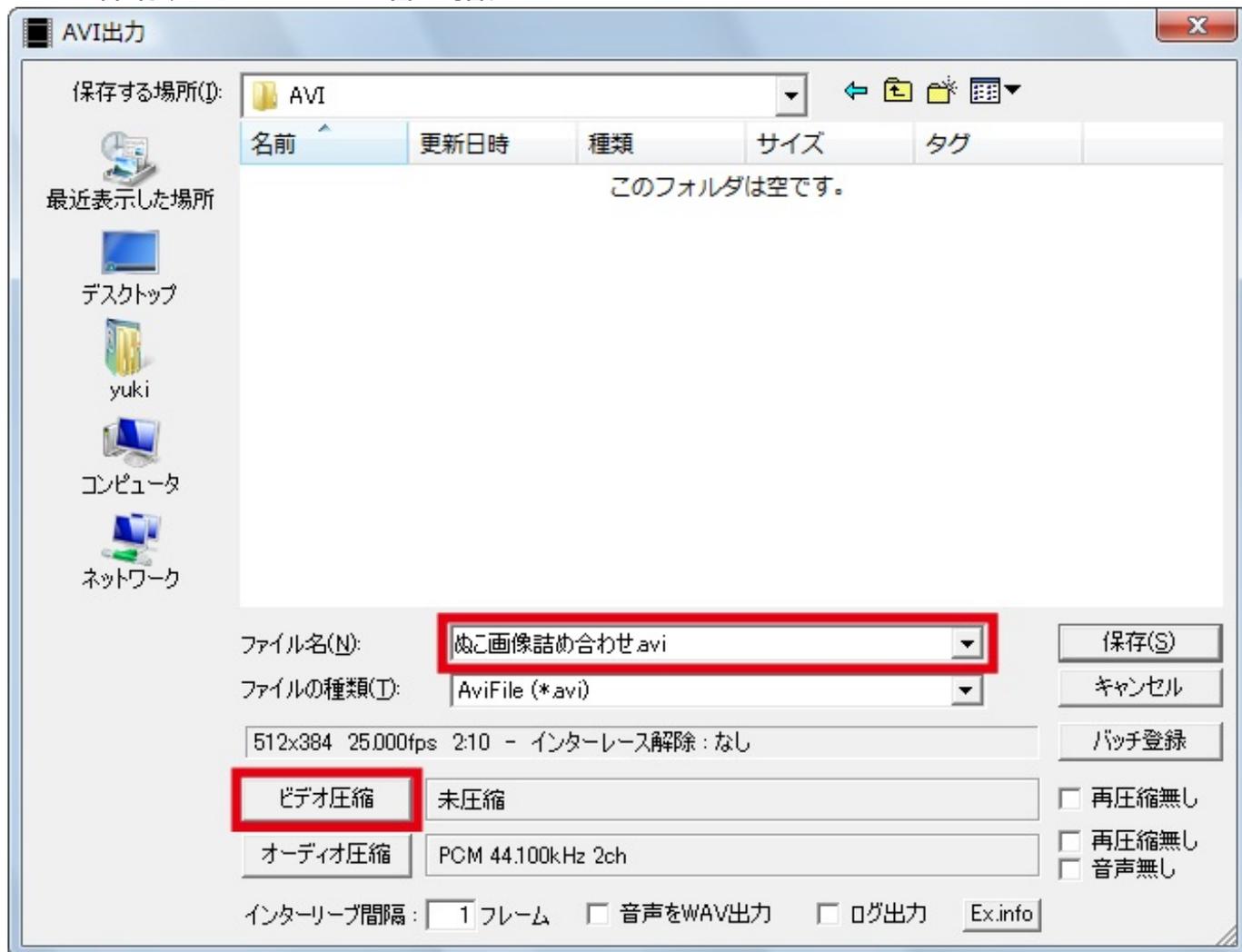
「音声読み込み」ダイアログが表示される。あらかじめHugFlashで抽出しておいたWAVEファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックする。

4-5 「AVI出力」を選択する



音声を読み込むと、ウィンドウ下部に緑色で波形が表示される。次に、「ファイル」メニュー→「AVI出力」を選択する。

4-6 保存先とファイル名を指定



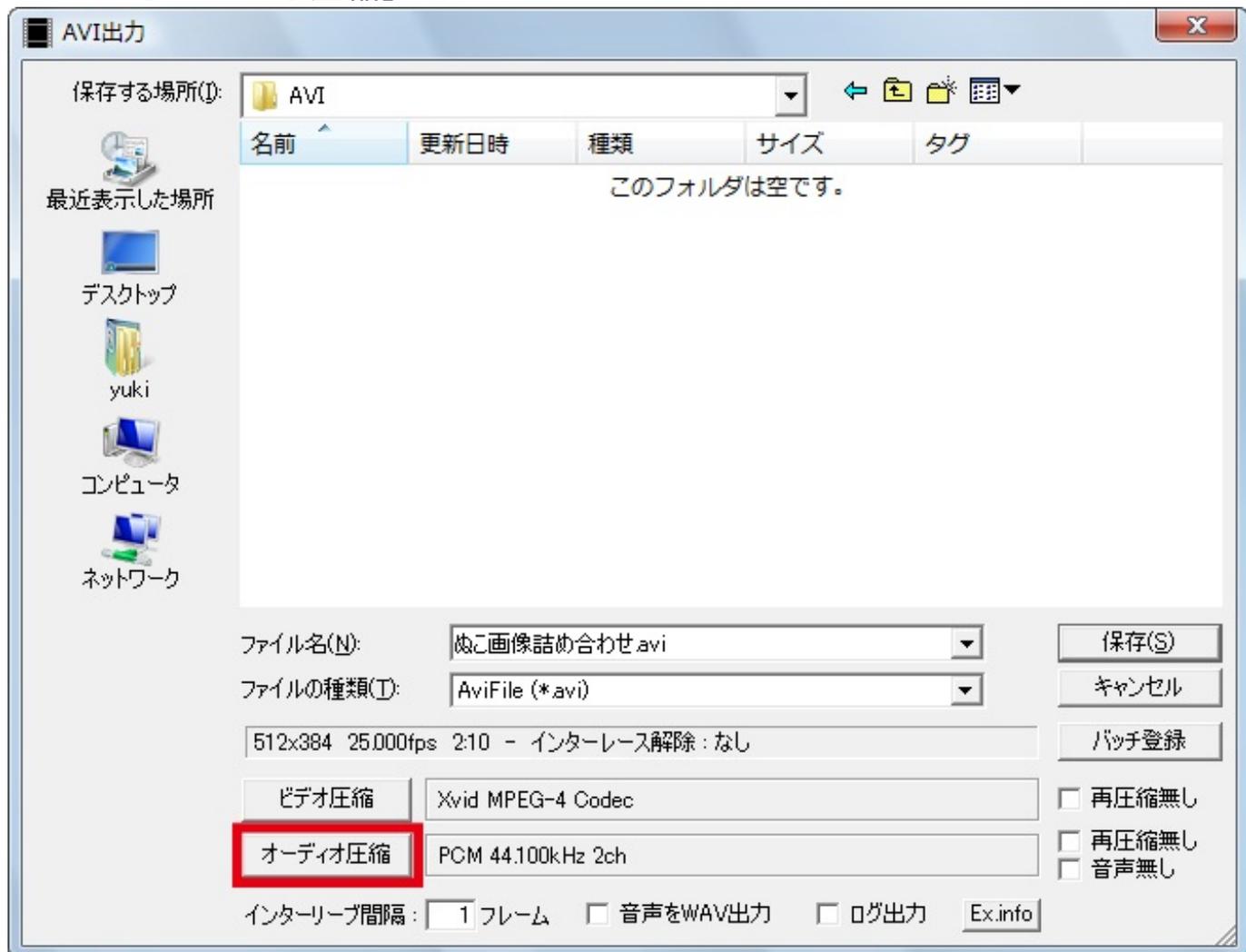
「AVI出力」ダイアログが表示されるので、保存先のフォルダを指定し、ファイル名を入力する。拡張子は「.avi」と入力しよう。次に、「ビデオ圧縮」ボタンをクリックする。

4-7 ビデオの圧縮方法を設定



「ビデオの圧縮」ダイアログが表示されるので、「圧縮プログラム」から「Xvid MPEG-4 Codec」を選択して「OK」ボタンをクリックする。なお、「設定」ボタンをクリックして詳細な設定を行うことも可能だが、ここでは省略する。

4-8 「オーディオ圧縮」をクリック



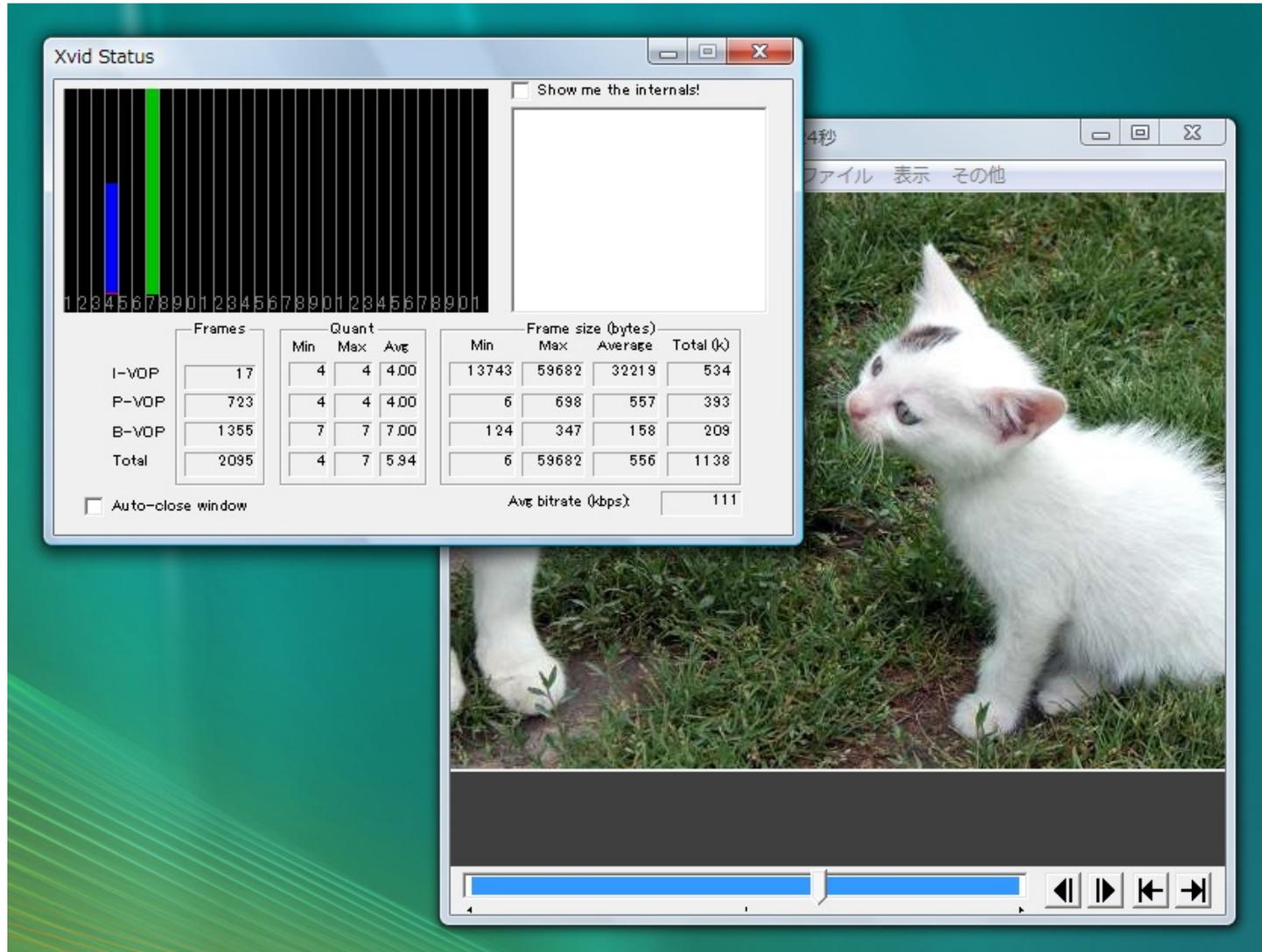
続いて、音声の圧縮方法を設定する。「AVI出力」ダイアログで「オーディオ圧縮」ボタンをクリック。

4-9 音声の形式と属性を設定



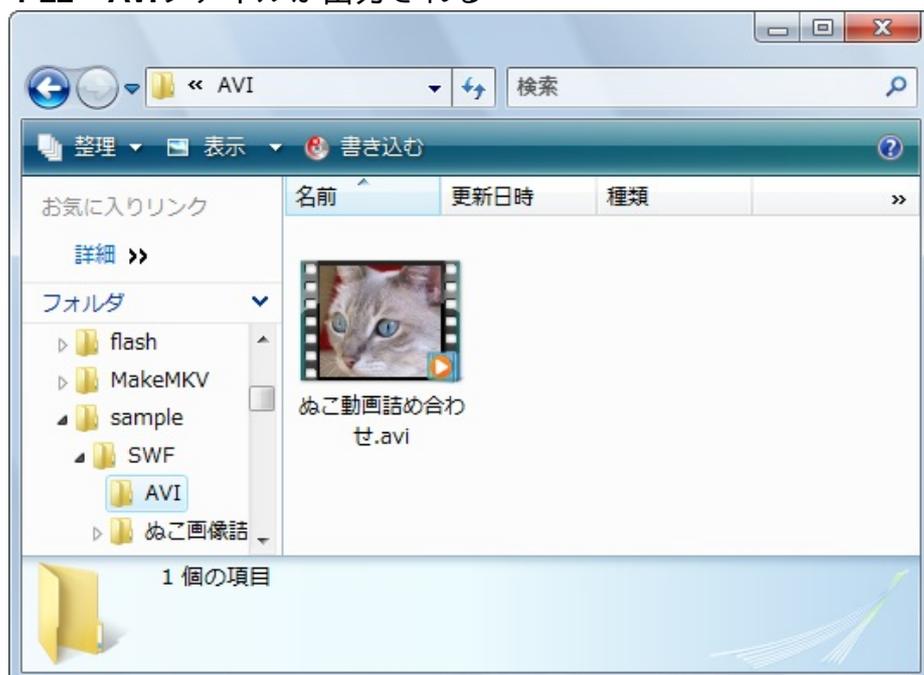
「サウンドの選択」ダイアログが表示される。「形式」から「MPEG Layer-3」（または「Lame MP3」）を選択し、「属性」を選択する。ここでは「4800Hz 128kbps CBR Stereo 15KB/秒」を選択した。「ABR」と付く属性を選ぶと可変ビットレートになるが、音ズレが発生しやすいので注意。設定できたら「OK」ボタンをクリック。

4-10 変換が実行される



「AVI出力」ダイアログで「保存」ボタンをクリックすると、変換が開始される。変換中は「Xvid Status」ウィンドウに状況が表示され、メインウィンドウに映像のプレビューが表示される。

4-11 AVIファイルが出力される



変換の完了後、指定した保存先にAVI形式の動画が保存される。

4-12 動画を再生して確認



出力された動画をWindows Media Playerなどで再生して、正常に変換できているか確認してみよう。